

受付番号	9	受付月日	5月15日
		午前・午後	8時42分

東郷町議会議長 井俣 憲治 殿

東郷町議会議員

議席番号16番 氏名 星野 靖江 ㊟

## 一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 人にやさしい道づくりと交通安全対策について	<p>都市機能の集約は健全な財政運営と人口減少抑制や地域の活性化による行政サービスの維持と深い関わりがあると思っています。また、自治体と住民が持続可能なまちの将来像を描き、事業の歳出削減や事業の効率化などに取り組むことにより、その具体化に向けた施策が必要不可欠と考えられます。</p> <p>そこで、日常生活の視点から安心して暮らし続けたいまちづくりを願い、お尋ねします。</p> <p>(1) 都市計画道路「愛知池線」に対する中央分離帯の植栽の考えは。</p> <p>(2) 幹線道路などを大型車両が通過走行した場合、周辺住宅に振動が伝わるなど影響がある。緩和対策として基本的な積載量チェック方法は。</p> <p>(3) 生活道路の安全確保や交通事故対策のひとつとして車の抜け道と考えた場合の速度制限対策は。</p> <p>(4) 町内の幹線道路である瀬戸大府東海線白鳥交差点等に防犯カメラが安心安全課により設置。その背景は侵入盗の多発地帯に対する防犯対策とのことであるが、防犯効果と今後の設置場所の検討は。</p> <p>(5) 改正道路交通法(2014年9月施行)により信号に頼らない交差点として町のシンボリックな発想による景観を活かした信号のないゆずり合いの交差点ラウンドアバウト方式計画と既存の変更計画は。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 都市近郊の利便を活かした農産物の拠点対策について	<p>本町は名古屋市近郊の住宅地として消費人口が見込まれています。その一方では地元産の農産物購入への期待も高まっています。</p> <p>また、「地産地消」や「食品安全基本法」の施行に伴い、消費者の願いを具体的に実施したいと生産、加工・製造、販売など各段階のリスク評価なども含めた情報交換や意見交換の仕組みを活かした暮らしと農産物の拠点づくりの観点からお尋ねします。</p> <p>(1) 農産物生産関係者が消費者のすぐ近くで地元産の野菜等をとおして、仲間づくりや地域の拠り所と考え、新鮮な農産物の直売や旬の野菜によるレシピの紹介・試食などの創意工夫を図り、存在感を發揮しようとして月1回「ふれあい朝市」を開催。今後は多様な連携の仕組みが課題と考えられるが当局の支援対策の考えは。</p> <p>(2) 持続可能な農業環境整備へのニーズが高まっているが、農産物直売所の在り方や販路、さらには限られた農業用地に対する将来像に対する当局の考えは。</p>	町長 担当部長
3 民生委員制度創設から100年。今後の考えについて	<p>民生委員制度は大正6年（1917年）5月 済世顧問制度を源に設置され、創設から100年経ちました。</p> <p>民生委員・児童委員の役割は地域の福祉を担うボランティアであると認識していますが、今後の課題は社会全体で支え合う環境を自治体や地域社会、介護施設など、各関係機関との連携により「助けて下さい」コールから介護なども含め、情報収集・情報共有できる「つなぎ役」としての仕組みが必要と考え、お尋ねします。</p> <p>(1) 役務は担当区域内の高齢者や障がい者の安否確認や見守り、子どもたちへの声掛け、さらには生活上の心配事など多様な相談もある。また、相談内容に応じては専門機関へのつなぎ役もあると思うが現況は。</p> <p>(2) 行政への働きかけや専門機関への必要なサービス紹介や連絡等の需要が増加傾向にあると考えられるが、今後の課題は。</p> <p>(3) 災害時における役割と今後の対策は。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。